

家庭学習の手引き（保護者の皆様へ）

鹿児島市立清和小学校

はじめに

小学校の学習は、将来、子どもたちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。そのために、本校では子どもたちの学力向上に取り組んでいます。

学力向上のためには、学校での学習はもちろんですが、家庭での学習もとても大切なものとなります。そこで、学校と家庭で連携をとり、学校での学習内容をより確かに定着させるために「家庭学習の手引き」を作成しました。この手引きを活用して、家庭での学習の習慣を身につけさせていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

学びの習慣化5箇条

県教育委員会資料より

- ☆ 「早寝・早起き・朝ごはん」の実行
- ☆ 家庭で毎日決まった時間の学習
- ☆ テレビ・ゲーム・携帯電話等のルールの徹底
- ☆ 家庭での読書の時間の増大
- ☆ 親子で語る時間の設定

1 学習時間のめやす（どのくらいの時間するか）

1年生	20分以上	2年生	30分以上
中学年	40分以上	高学年	1時間以上

家庭での学習時間は、個人差があります。上の時間はこれだけの時間は頑張してほしいという時間ですので、上限はつけてありません。

テレビを見ながら、音楽をききながらのながら勉強はやめさせてください。

2 学習の始めと終わりの時こく

「早寝・早起き・朝ごはん」のためにも、家に帰ったらすぐ始める習慣をつけさせてください。休日は朝のうちにすませるのが基本ですが、それぞれの家庭で話し合い、習慣づけられるようにさせてください。

3 家庭学習のポイント

- ◎ 学習する環境が整っているか確認してください。
テレビや音楽などはできるだけ消してください。（本人だけではありません。）
明るい場所で、学習に集中できるよう整然とされた机に向かわせてください。
- ◎ 決められた時間内に学習が終わるように、学習に集中させ取り組ませてください。
- ◎ まず、担任が出す宿題（漢字、プリント、日記、読み声カード等）に取り組ませてください。
- ◎ 次に、各学年の「家庭学習の手引き」を参考に自分で決めた学習をさせてください。

4 お願い

- ◎ 毎日の規則正しい生活が子どもたちの学力を向上させます。「早寝・早起き・朝ご飯」の取り組みをよろしくをお願いします。
- ◎ やらないことをしかるよりも、頑張ったところを認め、励ますことが子どものやる気につながります。ぜひ、見届けをしてください。
- ◎ 子ども用の学習の手引きは、部屋の壁等にはっておいていただき、お子さんに声かけするなどしてお子さんの家庭学習をねばり強くささえてあげてください。

家庭学習の手引き

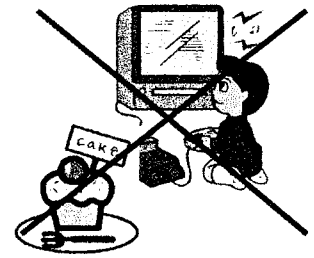
1ねんせいよう

せいわしょうがっこう

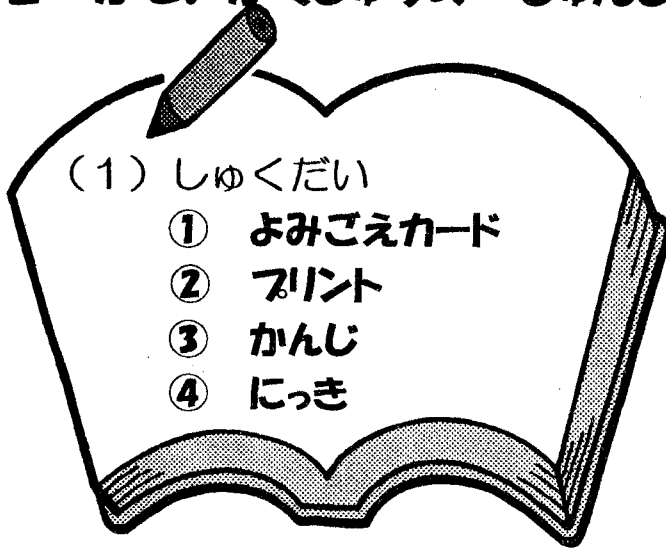
1 がくしゅう じかんの めやす

まいにち 20ぷんていど がんばりましょう

- ・ テレビや ゲームを つけません。
- ・ とちゅうで おやつを たべません。



2 かていがくしゅうの じゅんじょ



- (1) しゅくだい
- ① よみてえカード
 - ② フリント
 - ③ かんじ
 - ④ にっき

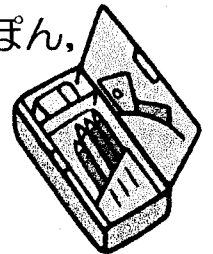
- ・ わからないときは おうちの人に ききましょう。
- ・ おわったら みなおしを しましょう。



(2) あしたの じゅんび

- ・ **じかんわり**を たしかめましょう。
- ・ **ふでばこ**の **なかみ**を たしかめましょう。

(けずった えんぴつ 5ほん, あかえんぴつ 1ほん, けしごむ 1こ, じょうぎ 1ほん)



3 がくしゅうの ポイント

- (1) あかるい ばしょで, よい しせいで。
- (2) ただしい えんぴつの もちかたで。
- (3) じは ひつじゅん どおりに, 「とめ」「はね」「はらい」などを ていねいに。



☆ いつも みえる ところにはって おきましょう。



「につききをかきましよう」 一ねんせい

● につききを かくことは とてもためになります。

につきいで おはなしを じょうずに かくことができるようになります。
 じぶんの きもちを せんせいや おともだちにじょうずに つたえられるようになります。

● につきには、 こんなことを かいてみましよう。

そのひに あった できごとから、

- ・ たのしかったこと、うれしかったこと
 - ・ かなしかったこと、くやしかったこと
 - ・ みんなに おしえたいこと
 - ・ はじめてしたこと
 - ・ こころに つよくのこったこと
- などを、 かいてみましよう。



● かくときには こんなことに きをつけましよう

- 一、一にちのできごとのなかで、一ばんかきたいことを一つきめる。
- 二、だいをつける。
- 三、おなじだいのにつきは、なんかいも かかない。
- 四、ほんとうのことを しようじきに かく。
- 五、ならったかんじは、かならずつかう。

● こんなことを

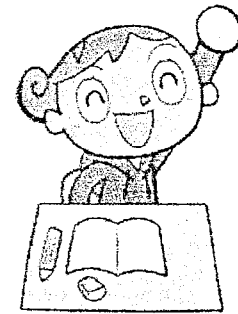
かいて もいいですよ。

- ・ がんばっている こと
- ・ ともだちの こと
- ・ かぞくの こと
- ・ せんせいに しつもん
- ・ テレビで みたこと
- ・ ほんで よんだこと
- ・ あそんだ こと
- ・ しかられた こと
- ・ ほめられた こと
- ・ ふしぎな こと
- ・ すきな○○
- ・ (○○は、なんでもよい)
- ・ きらいな○○
- ・ (○○は、なんでもよい)
- ・ おてつだいたこと
- ・ いきもの こと
- ・ (むしや どうぶつ、きやくぎ、はなのこと)

1 学習時間のめやす（どのくらいの時間するか。）

2 年生 30分ていど

テレビや音がくをけて、30分はつくえにむかきましょう。



2 へい日の学習時間をきめよう。

（1日の生かつリズムを書こう。）

3 家庭学習のじゅんじょ

（1）しゅくだいをしましょう（読みごえ、日記、かん字、プリントなど）。

（2）自分できめた学習をしましょう。

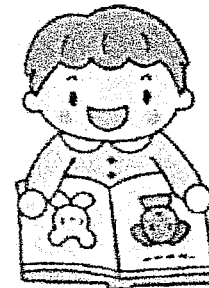
（3）明日のじゅんびをしましょう。

4 学習のポイント

（1）あかるいばしょで、よいしせいで学習しましょう。

（2）きめた時間ないにおわるように、しゅう中してとりくみましょう。

（3）字はひつじゅんどおりに「とめ」「はね」「はらい」をていねいに書くようにしましょう。



5 学習のメニュー

（1）しゅくだいコース

①プリントやドリル

分からないときは、おうちの人にききましょう。

②かん字

新しくなったかん字をひつじゅんどおりにおくりがなをつけたり、じゅく語の形で書いたりするとよいでしょう。

③日記

先生にお話するつもりで、なにをつたえたいかかんがえて、だい名、自分の思いを書い
ていきましょう。ならったかん字をつかい、ていねいな字で書きましょう。

④読みごえカード

国語で今、学習しているところや「今月のし」の音読をくりかえしましょう。

（2）じぶんの学習コース

①教科の学習

今日、学習したところ、大じなところをこえに出して読みましょう。

②読書

2年生で読んでおきたい、すいせん図書を全部読むようにながらみましょう。いろいろ
なジャンルの本を読みましょう。

③しぜんかんさつ

どうぶつやしょくぶつをそだてたり、かんさつしたりしましょう。きせつのしぜんに気
づいたり、ぎょうじにさんかしたりしましょう。

1 学習時間のめやす (どのくらいの時間するか。)

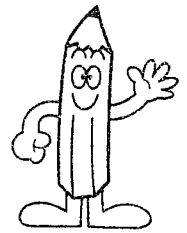
中学年 40分以上

テレビを見ながら、音楽をききながらの『ながら勉強』はやめましょう。

2 毎日の学習時間を決めよう (1日の生活リズムをかこう。)

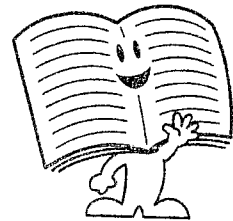
3 4 5 6 7 8 9 10 11

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



3 家庭学習のじゅんじょ

- (1) 前の日のまちがいをやり直して、同じまちがいをしないようにしましょう。
- (2) 先生から出されたしゅく題をしましょう。
- (3) 宿題がすんだら、その日学校で学習した内ようをふりかえりましょう。
- (4) その後、自分で決めた学習をしましょう。
- (5) 学習がすんだら、明日のじゅんびをして、読書にもはげみましょう。



4 学習のポイント

- (1) 明るい場所で、よいしせいで学習しましょう。
- (2) 決めた時間内に終わるように、集中してとり組みましょう。
- (3) 字はひつじゅんをおぼえ、字の中心をいしきして、ていねいに書くようにしましょう。
- (4) じてんなどは、学習する場所のちかくにおいて、すぐ調べられるようにしておきましょう。

5 学習のメニュー

(1) しゅく題コース

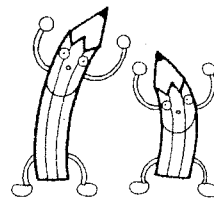
- 【プリント・ドリル】 ○ 分からないときは、次の日に先生や友だちにしつ問して、かならず分かる・できるようにしましょう。
- 【漢字】 ○ 先生からまちがっているところを直されていないか、かくにんしましょう。
- お手本をよく見て、とめるところ・はねるところ・はらうところにちゅういして書くようにしましょう。
- 【日記】 ○ 読み手(先生)を意しきして、何をたえたいか考えて、題名、自分の思いを書いていきましょう。習った漢字を使い、ていねいな字で書きましょう。
- 【読み声カード】 ○ 国語で今学習しているたん元の音読をくりかえしましょう。

(2) 自分の学習コース

- 【教科のふく習】 ○ 国語以外の教科書も読むだけでも力になります。今日学習したところ、大事なところなどを、ノートにせい理していくとよいでしょう。れん習問題やドリルにとり組むのもよいでしょう。
- 【意味調べ】 ○ 分からない言葉や新出漢字を国語じてんや漢和じてんでしらべることをつづけていくと力がついてきます。
- 【読書】 ○ すいせん図書をぜんぶ読むようにがんばりましょう。いろいろなジャンルの図書、きょうみを持っていることにかんする図書を読みましょう。
- 【調べ学習】 ○ 学校のじゅぎょうや教科書、ニュースできょう味を持ったことを、もつとふかく知りたいときは、自分から進んでいろいろな方ほうでしらべましょう。(じてん、図書、インターネット等)
- 【自然観察】 ○ つくえにむかうだけが学習ではありません。みの回りのしぜんにも目をむけてみましょう。きせつのへんかにもなつて、しぜんがどうへんかするか、一年間を通してかんさつしていきましょう。

家庭学習の手引き 4年生用

清和小学校



- 1 学習時間のめやす (どのくらいの時間するか。)
中学年 40分以上

テレビを見ながら、音楽をききながらのながら勉強はやめましょう。

- 2 毎日の学習時間を決めよう (1日の生活リズムをかこう。)

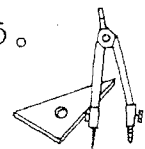
3 4 5 6 7 8 9 10 11

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



- 3 家庭学習の順序

- (1) 前の日の間違いを訂正し、同じ間違いをしないように心がける。
- (2) 先生から出された宿題をする。
- (3) 宿題がすんだら、その日学校で学習した内容を必ず一度ふりかえる。(復習)
- (4) その後、自分で決めた学習をする。
- (5) 学習がすんだら、すぐ、明日の準備をして、読書にも励みましょう。



- 4 学習のポイント

- (1) 明るい場所で、よい姿勢で学習しましょう。
- (2) 決めた時間内に終わるように、集中して取り組みましょう。
- (3) 字は筆順を覚え、真ん中を意識して、ていねいに書くことを心がけましょう。
- (4) 辞典類は必ず身近に置いてすぐ調べられるようにしておきましょう。

- 5 学習のメニュー

(1) 宿題コース

- ①宿題プリント、ドリル 分からないときは、次の日に先生や友達に質問して、必ず分かる・できるようにしましょう。
- ②漢字 新出漢字を筆順どおりに五回程度ずつ書きましょう。送り仮名やじゅく語の形で書くとよいでしょう。前日の間違いはいちばん先に書きましょう。時間があるときは、次の日の読み仮名を書いておくのもいいですね。前習った字で忘れていたものもあるかもしれません。そういう字をたまには練習しましょう。
- ③日記 読み手(先生)を意識して、何を伝えたいか考えて、題名、自分の思いを書いていきましょう。習った漢字を使い、ていねいな字で書きましょう。
- ④読み声カード 国語で今学習している単元の音読をくり返しましょう。

(2) 自分の学習コース

- ①教科の復習 国語以外の教科書も読むだけでも力になります。今日学習したところ、大事なところ等を、ノートに整理していくとよいでしょう。練習問題やドリルに取り組むのもよいでしょう。
- ②意味調べ 分からない言葉や新出漢字を国語辞典や漢和辞典で調べることを続けていくと力がついてきます。
- ③読書 すいせん図書を全部読むようにがんばりましょう。いろいろなジャンルの図書、興味を持っていることに関する図書を読みましょう。
- ④調べ学習 学校の授業や教科書、ニュースで興味を持ったことを、もっと深く知りたいときは、自分から進んでいろいろな方法で追究しましょう。(事典、図書、インターネット等)
- ⑤自然観察 机に向かうだけが学習ではありません。身の回りの自然にも目を向けてみましょう。季節の変化にともなって、自然がどう変化するか、一年間を通して観察していきましょう。



家庭学習の手引き 5年生用

清和小学校

1 学習時間のめやす (どのくらいの時間するか。)

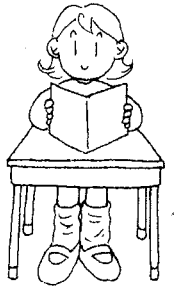
高学年 1時間以上

テレビを見ながら、音楽をききながらのながら勉強はやめましょう。

2 毎日の学習時間を決めよう (1日の生活リズムをかこう。)

4 5 6 7 8 9 10 11 12

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



3 家庭学習の順序

(1) その日に返された宿題やプリントの間違い直しをし、そして、同じ間違いをしないように心がける。

(2) 先生から出された宿題をする。

(3) 宿題がすんだら、その日学校で学習した内容を必ず一度ふりかえる。(復習)

(4) その後、自分で決めた学習をする。

(5) 学習がすんだら、すぐ、明日の準備をして、読書にも励みましょう。

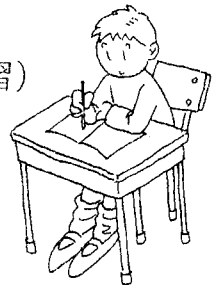
4 学習のポイント

(1) 明るい場所で、よい姿勢で学習しましょう。

(2) 決めた時間内に終わるように、集中して取り組みましょう。

(3) 字は筆順を覚え、真ん中を意識して、ていねいに書くことを心がけましょう。

(4) 辞典類は必ず身近に置いて、すぐ調べられるようにしておきましょう。



5 学習のメニュー (例)

(1) 宿題コース

①宿題プリント、ドリル 分からないときは、次の日に先生や友達に質問して、必ず分かる・できるようにしましょう。

②漢字 前日の間違いは、確実にやり直しましょう。

時間があるときは、次の日の読み仮名を書いておくのもいいですね。

③日記 読み手(先生)を意識して、何を伝えたいか考えて、題名、自分の思いを書いていきましょう。習った漢字を使い、ていねいな字で書きましょう。

④読み声カード 今学習している教科書(国・社・算・理等)の音読をくり返しましょう。

(2) 自分の学習コース

①教科の復習 国語以外の教科書も読むだけでも力になります。今日学習したところ、大事なところ等を、ノートに整理していくとよいでしょう。

ドリルや問題集に取り組むのもよいでしょう。

②教科の予習 どんな学習をするか前もって確かめておきましょう。

③意味調べ 分からない言葉や新出漢字を国語辞典や漢和辞典で調べることを続けていくと力がついてきます。

④読書 すいせん図書を全部読むようにがんばりましょう。いろいろなジャンルの図書、興味を持っていることに関する図書を読みましょう。

⑤調べ学習 社会、理科、総合的な学習、外国語やニュースで興味を持ったことをもっと深く知りたいときは、自分から進んでいろいろな方法で追究しましょう。(事典、図書、インターネット等)

⑥自然観察 身の回りの自然にも目を向けて、観察記録等をつけてみましょう。

家庭学習の手引き 6年生用

清和小学校

1 学習時間のめやす（どのくらいの時間するか。）

高学年 1時間以上

テレビを見ながら、音楽をききながらのながら勉強はやめましょう。

2 毎日の学習時間を決めよう（1日の生活リズムをかこう。）

4 5 6 7 8 9 10 11 12

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3 家庭学習の順序

- (1) 間違いを訂正し、同じ間違いをしないように心がける。
- (2) 先生から出された宿題をする。
- (3) 宿題がすんだら、その日学校で学習した内容を必ず一度ふりかえる。(復習)
- (4) その後、自分で決めた学習をする。
- (5) 学習がすんだら、すぐ、明日の準備をして、読書にも励みましょう。

4 学習のポイント

- (1) 明るい場所で、よい姿勢で学習しましょう。
- (2) 決めた時間内に終わるように、集中して取り組みましょう。
- (3) 字は筆順を覚え、真ん中を意識して、ていねいに書くことを心がけましょう。
- (4) 辞典類は必ず身近に置いて、すぐ調べられるようにしておきましょう。

5 学習のメニュー

宿題コース

(1) 宿題プリント

・ドリル 分からないときは、次の日に先生や友達に質問して、必ず分かる・できるようにしましょう。

(2) 漢字 前日の間違いは、確実にやり直しましょう。時間があるときは、次の日の読み仮名を書いておくのもいいですね。

(3) 日記 読み手（先生）を意識して、何を伝えたいか考えて、題名、自分の思いを書いていきましょう。習った漢字を使い、ていねいな字で書きましょう。

(4) 読み声カード 今学習している教科書(国・社・算・理等)の音読をくり返しましょう。

自分の学習コース

(1) 教科の復習 国語以外の教科書も読むだけでも力になります。今日学習したところ、大事なところ等を、ノートに整理していくとよいでしょう。

また、ドリルや問題集に取り組むのもよいでしょう。

(2) 教科の予習 どんな学習をするか前もって確かめておきましょう。

(3) 意味調べ 分からない言葉や新出漢字を国語辞典や漢和辞典で調べておきましょう。

(4) 読書 すいせん図書を全部読むようにがんばりましょう。いろいろなジャンルの図書、興味を持っていることに関する図書を読みましょう。

(5) 調べ学習 社会、理科、総合的な学習、外国語やニュースで興味を持ったことをもっと深く知りたいときは、自分から進んでいろいろな方法で追究しましょう。(事典、図書、インターネット等)

(6) 自然観察 机に向かうだけが学習ではありません。身の回りの自然にも目を向けて、観察や記録をしてみましょう。